住民参加の身近にできる水質浄化の社会実験

芦田川きれい☆きれいプロジェクト結果報告

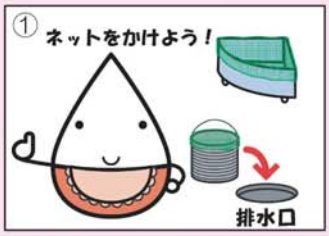
くりんちゃん通信　特別号　2008年2月

【発行・事務所】
芦田川環境マネジメントセンター（AEMC）
〒720-8555 広島県福山市西町2-10-1
福山商工会議所ビル 1F ㈱エフエムふくやま内
TEL(084)920-8777
E-mail aemc@fm777.co.jp
http://fm777.co.jp/pc/aemc/index.htm

芦田川の水質改善のため、身近にできる水質浄化の社会実験を平成19年11月4日～12月1日までの約1ヵ月間実施しました。
身近にできる水質浄化を地域ぐるみで取り組み、その効果を検証することで、芦田川の現状や家庭で出来る効果的な取り組みを芦田川流域全体へ啓発していくことを目的としています。
また、身近な川をきれいにする効果を実感していただくことで、芦田川流域住民の方々に常日頃からの水質浄化活動の契機となって、この取り組みが定着し、芦田川流域全体に広まっていくことも期待しています。

◆ 取り組み内容 ◆

①調理くずや食べ残しを流さない
②汚れのひどい鍋、食器類は、拭き取ってから洗う
③食用油は直接流さず、紙に染み込ませたり、固めたりして捨てる
④食器類を洗う時に、洗剤の使用量を減らす
⑤洗濯の時に、洗剤の使用量を減らす



◆ 調査実施場所位置図 ◆

◆ 調査方法 ◆

1.取り組み前の水質調査

取組み前のモデル地区の水質状況を把握するため、身近な水路の水質調査を行います。

2.モデル地区における調査

モニター地区の皆さんで、家庭でできる水質浄化の取り組みとして5項目を実践し、その取り組み状況について記録用紙に記入してもらいます。

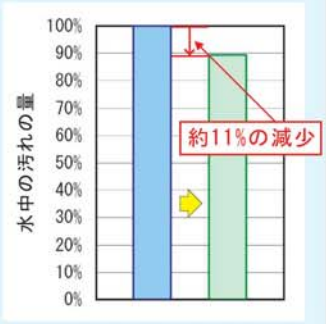
約1ヵ月の実践期間の中に再度、水質調査を実施して、取り組みの効果を把握します。

◆ 水質調査結果 ◆

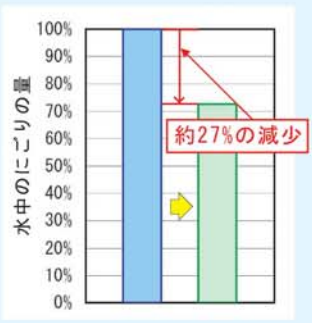
水質浄化の取り組み前後に水質調査を行った結果、取り組み前と比較して、取り組み後の水質が改善されました。

このことは、各取り組み項目について、流域住民の皆さんが積極的に取り組んで頂いた結果、生活排水等の汚れの量が削減されたことによるものと考えられます。

【 水の中の汚れの量（BOD） 】



【 水中のにごりの量（SS） 】



【 アオコ※の原因となる物質の量（T-P） 】

事前調査（11/1）　実施中調査（11/15）

図　水質調査結果の比較（２地区平均）

※）アオコの原因となる物質が多くなるとプランクトンが大量発生し、それらが池や湖の表面に浮かび上がり、水面に緑色の粉を浮かべたような、あるいはペンキを流したような状態になることを「アオコ」と呼び、異臭を放ち、景観への悪影響となる。

◆ 取り組み状況 ◆

《 結果報告会（竹田地区）》

《 事前説明会（加屋地区）》

《 水質調査（加屋地区）》

● 参加者の声 ●

○ 芦田川に関心を持つようになった。
○ みんなが取り組めば必ず芦田川はきれいになると思います。
○ １人１人が環境の事を考えるきっかけをつくる活動があってひとりでも多く広まっていったら良いなと思います。芦田川だけにとどまらず、子供達の為にきれいな地球を残してあげたいです。